

## 有識者・専門家等からの主な意見

## 1 有識者・専門家等の意見

- ・ 今回の内容に異論はない。110 という数字を出せたのはわかりやすくいい。
- ・ 前倒し解除の目安として道内 350 床、札幌 110 床に賛成する。
- ・ 札幌市に対する基準については、異論はない。入院者数は、感染者数の約 2-3 週遅れて変動するので、解除については慎重に判断してほしい。
- ・ 当初の予定通り、札幌市内の時短要請の前倒し解除は慎重に対応した方がよい。
- ・ 道の考え方に賛成する。老人施設で大規模なクラスターが発生すれば、20~30 人の陽性者が一挙に増えるし、ワクチン接種に向けて保健所の体制確保も必要となる。3 月の人の移動もあり、もう少しの辛抱をすべきかと思う。
- ・ 医療提供体制の解除要件についても、合理的な説明ができるよう具体的な数値を示すことが必要であり、今回の措置については妥当。想定以上に早く新規感染者数が減少したことについて、道民、事業者の皆さんの努力をしっかりと評価してほしい。
- ・ 賛成する。入院患者数等を見ても、時短要請の前倒し解除に至っていないとのことであり、感染拡大防止策を継続する必要がある。
- ・ 理解する。時短要請を解除した後は、民間（業界団体）の協力を得ながら、しっかりと感染拡大防止を行っていることをそれぞれがアピールすることが必要である。
- ・ 医療提供体制の確保を図るという観点から、対策の継続については理解する。入院患者数も判断材料とするという考えは理解するが、本来は予め対象としておくべき指標と思われることから、110 床という判断指標の見直しについて、丁寧な説明が必要と考える。
- ・ 北海道および札幌市の入院患者の病床数が、道の警戒ステージ 4 相当を上回っている現状に鑑み、集中対策期間を継続することは医療提供体制の負荷軽減を早期に実現するために妥当な判断である。

## 2 関係団体の意見

- ・ 依然として医療提供体制のひっ迫状況が続いており、短期集中でしっかりと感染を抑え込むという今回の集中対策期間延長の狙いを考えると、当面の時短要請の継続は妥当と考える。
- ・ 解除する際の条件等について、道民や対象事業者が納得感を持つよう丁寧な説明をお願いする。
- ・ 今回について、病床の目安を設けることは理解。